



令和元年6月18日

報道機関 各位

国立市役所市長室広報・広聴係

申込不要
荒天中止

着物や浴衣でお越しになった方には**割引あり!**

「第31回くにたち朝顔市」開催

国立市の夏の風物詩としてすでに定着し、毎年、市内外から多くの方にお越しいただいている【くにたち朝顔市】を、今年も7月に開催します。

31回目を迎える今夏も、市内にある自然豊かな「朝顔の里」（国立市泉）で大切に栽培された「行灯仕立て」と呼ばれる、ここでしか手に入らない“くにたち産の日本朝顔”を中心とした色とりどりの花々数千鉢をご用意し、2日間販売します。

そのほかにも、下記のさまざまなイベントを会場となる大学通りで同日開催します。

このことを、市内外の皆さまに広くお知らせし、今年も多数の方にお越しいただきたく、ぜひ、貴媒体での告知および当日の取材・掲載方、お願いいたします。

記

1. 日 程 7月6日（土）・7日（日）
2. 時 間 午前6時～午後5時（予定。売り切れ次第終了）
3. 場 所 JR 国立駅南口大学通り緑地帯（一橋大学正門南側）
4. 朝顔の展示販売（通常1鉢：1,500円）
 - 🌸当日、着物・浴衣を着てご来場された方は、1鉢1,400円（1人1鉢限り・各日先着100名様）でご購入できます。
 - 🌸当日、本部で割引券を発行します（くにたちポイントで購入する場合は対象外）。
 - 🌸くにたちポイントでも購入できます（1鉢：1,400ポイントで購入可）。
 - 🌸遠方への宅配や贈答にもご利用ください。



5. イベント（同日・同場所で開催）

- ✿ 飲食、菓子、雑貨などのブースのほか、地元産のくにたち野菜なども販売。
- ✿ 伝統の江戸風鈴を販売。
- ✿ チビッコセタひろば・折り紙教室
（両日とも午前10時～午後3時。各日先着100名様）



問い合わせ

くにたち朝顔市実行委員会（国立市商工会内）
TEL：042-575-1000

【くにたち朝顔市】の歴史

30年前の国立市では、春の「さくらフェスティバル」、秋の「市民まつり・天下市」が大きなイベントとしてありましたが、夏の催しだけがなく、さみしい状況でした。

「夏の時期に大学通りでイベントができないものか」と市民有志が思案し、せっかくなら「子どもたちにふるさとの思い出」を提供できたらとの想いも重なり、平成元年（1989年）、第1回目の「くにたち朝顔市」を開催しました。

当初は、「入谷朝顔市」でも仕入先としていた江戸川区内の栽培者から朝顔を仕入れていました。しかし、平成2年（1990年）、市内の農業者3軒が「朝顔・鉢物研究会」を結成し、江戸川区内の農園へ研修に出向き、本場の技術を学びながら試行錯誤のなかで、くにたち産の朝顔栽培に乗り出したのです。

そして3回目の「くにたち朝顔市」では、5軒の地元農業者の力と技が集結し、販売する鉢植えがすべて「くにたち産の朝顔」に変わりました。

その後、朝顔栽培農業者が共同し、市内の泉地域に「朝顔の里」をつくり、以来、「くにたち産の日本朝顔」を毎年大切に栽培し続けています。

朝顔の里で栽培される多くは「日本朝顔」と呼ばれ、大輪の花が最大の特徴です。また、輪にした支柱に朝顔のツルをらせん状に手作業で巻きつけ、「行灯（あんどん）」のような形に仕立てているのも美しい花姿の魅力です。

（国立市商工会より）

※「朝顔の里」を取材していただける場合は、国立市商工会へお問い合わせください。



**「第24回ダイヤ街ほおずき市」開催(申込不要・荒天中止)
6月29日(土) 午前11時～(売り切れ次第終了)**

7月6日(土)、7日(日)の「第31回くにたち朝顔市」に先駆けて、生産農家による「ほおずき」を次のとおり限定販売します。また、当日は楽しいイベントも多数開催します。

イベント内容

- ★ミニSLに乗ろう！(雨天中止)
- ★音楽ライブ
- ★模擬店 ほか

プレゼント企画

- ★くにたちポイントの進呈：午後1時～先着200名様
- ★お菓子の配布：午後2時～先着150名様(小学生以下対象)
場所 谷保第一公園(富士見台1-9 通称「汽車ぽっぽ公園」)

※雨天時は、イベント内容を変更する場合があります。

問い合わせ

**ダイヤ街代表：天野
TEL：042-572-7835**